

令和8年度第1回学校関係者評価委員会報告

- 1 日時 令和8年5月29日（金）14:50～授業見学 15:25～16:30 委員会（校長室）
- 2 学校関係者評価委員
近隣中学校長、PTA会長、PTA副会長、同窓会長、地域住民代表
- 3 学校職員の出席者
校長、教頭、事務長、教務主任、生徒指導副主任、進路指導主任、保健主任
- 4 内容
 - (1) 授業見学
 - (2) 校長挨拶
 - (3) 本校の学校経営の方針・説明（校長）
 - (4) 学校概要説明等（教頭、各部主任）
 - (5) 質疑応答等
- 5 質疑応答等
 - ・授業を参観したが、しっかり授業にしっかりと向き合っていた。
 - ・近年、一斉授業がうまくいかなくなっている傾向があり、タブレットの活用はあるものの、主体的な学習やじっくり考える時間が不足しているように感じる。中学生に求める力を教えてほしい。
 - アクティブラーニングなどの使い分けを行ってじっくり考える時間を作る必要がある。
 - メリハリをつけて、ある程度伝えること、基礎基本を教え、授業に向かう姿勢づくりを行うことで成長につなげている。
 - 愚直に書くことも大切で、調べるや自分で考え自分の考えを伝えることを大切にしている。
 - どうやってその答えに導くのか論理的な考えが必要になってくる。筋道立てて伝えることを教え、学習習慣の確立に繋げている。
 - ・アニメ「サザエさん」のようにテレビを見ないで食卓を囲み意見を言い合う環境もアナログではあるが大切な部分である。
 - ・新入生が2クラスになったことは喜ばしい。伊佐市内の小学校は小規模校が多く、コミュニケーション能力について課題がある。少年団で交流するなどきっかけを作っている例がある。
 - ・行ける学校（職場）でなく行きたい学校（職場）に進めるように手立てを進めてほしい。
 - ・進路実績の横断幕は、地域に大きなアピールになっている。保護者が進路決定に影響を与えるケースが多く、中学生の保護者へのアプローチを行ってほしい。
 - 兄弟で入学するケースも多くそのことも学校が信頼されていることを表している例である。